

温

おん

(思いやりのある子)

強

ごう

(がんばり抜く子)

活

かつ

(進んで学ぶ子)

山口市立小郡小学校
2019 年度 校長室だより

第 42 号

〈R.2. 3.20〉

立派に卒業していきました

3月19日(木)に卒業証書授与式を行い、65名の6年生が立派に卒業していきました。突然の臨時休業のため、一度も練習をしていないにも関わらず、みんな立派な態度でした。証書を受け取った後、自分の夢や思い出を一言話すのですが、それもみんな頑張っていました。来賓や在校生は入れず、時間も45分程度に短縮するという条件のもとでの開催でしたが、その中でできることを精一杯やった卒業式だったと思います。

在校生の姿がなかったのは寂しかったですが、「6年生に思いを伝えよう集会」の各学年の発表の映像を式が始まる前に6年生の保護者に見てもらいましたよ。在校生の思いも伝わったと思います。



校長式辞の一部を紹介します。

・・・できるかどうかわからないことに対して、自分はできると信じて挑戦してみるこの大切さをいつも言ってきました。フィギュアスケートの羽生選手が大きな大会のスケートリンクに登場した時に「できる！できる！できる！」と叫んでいました。彼がもし、「できる」と思わず、「ムリ、ムリ」と思っていたら決して4回転ジャンプは跳べなかったと思います。できると思ってやってみるのか、ムリだと思ってやる前からあきらめるのか、大きな違いです。挑戦した結果、うまくいかなかったとしても、挑戦したという事実は残ります。やるだけやったという満足感が得られます。頑張る自分を好きになれる。自分を好きになれるれば、笑顔になれる。そこが大切です。こんな言葉があります。

『幸せだから笑顔になるのではない。笑顔でいるから幸せになるのだ。』

前向きに挑戦して笑顔が多い人の周りには、友達も集まってきます。自分なりに納得した人生が送れます。笑顔が幸せを引き寄せるとも言えると思いますが、その笑顔のものは、挑戦なのです。・・・



1月～2月に校長室で一緒に給食を食べた時の6年生